

※本資料は、政府予算案をもとにしたものであり、今後、変更の可能性はある。

資料3

平成29年度補正予算  
「革新的技術開発・緊急展開事業」のうち「経営体強化プロジェクト」について

平成29年12月27日

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課

# 目次

---

1	革新的技術開発・緊急展開事業のうち経営体強化プロジェクトの概要	2
2	経営体強化プロジェクトのスキーム	3
3	公募課題(案)1	4
	公募課題(案)2	5
	公募課題(案)3	6
4	今後のスケジュール(予定)	7

# 1 革新的技術開発・緊急展開事業のうち経営体強化プロジェクトの概要

平成29年度補正予算額 【6,000百万円】

うち新規採択 【1,000百万円】

## 対策のポイント

- 国際競争力の強化に向け、明確な開発目標の下、生産者・企業・大学・研究機関がチームを組んで、生産者への実装までを視野に入れた技術開発を早急に推進

## 背景／課題

- 「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、我が国農林水産業の体質強化を図るため、外国産との差別化や更なる生産性の向上を可能にする技術を生み出し、生産現場での速やかな活用につなげることが重要
- このため、生産性向上に直結する課題に重点を絞り、分野の垣根を越えた研究勢力を結集して研究開発を実施し、短期間で研究成果を得て生産現場に実装することが必要

## 主な内容

- 農林漁業経営体の技術力強化のため、テーマ毎に、農林漁業者、企業（ベンチャー企業等）、大学、研究機関がチームを組んで、明確な開発目標の下で現場への実装までを視野に入れた技術開発を支援  
〔事業実施主体：（国研）農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）〕

## 2 経営体強化プロジェクトのスキーム

### 技術開発主体

生産者、民間企業、研究機関(国研、公設試、民間、大学等)、地方公共団体等で構成する研究コンソーシアム

### 支援内容

生産者等のニーズを踏まえ、生産性向上やコスト削減などの具体的な数値目標を明らかにした「明確な開発目標」の下、研究コンソーシアムが策定する「地域戦略・研究計画」に基づき実施する、関係者が一体となった、現場への実装までを視野に入れた技術開発に要する経費を支援 【委託費, 定額】

※ 国及び事業実施主体で審査を行い、支援対象者及び支援額を決定

### 支援期間

原則、平成32年度末まで

### 主な要件

① 研究コンソーシアムに、生産者及び地方公共団体(地域戦略の対象範囲に対応する自治体)が参画すること

- 注1) 生産者のコンソーシアムへの参画が必須  
協力機関(コンソーシアム外)としての参画では要件を満たさないので、留意すること
- 注2) 地方公共団体の参画が必須(協力機関としての参画も可)  
農林漁業団体等の単位で地域戦略を策定し、当該団体等が開発技術の普及を行う場合は、当該団体等が参画すれば、地方公共団体の参画は必須ではない

② 実際の農林水産業の現場等で実証研究を行うこと

(例) 生産に関する技術開発を行う場合は、農家や法人の経営の中で実証研究を実施

### 【地域戦略・研究計画で定める主な事項】

- 対象とする地域、品目(経営類型)
- 今後目指す方向性(※)及びその具体的な指標(根拠を示し定量的に)  
※方向性の例: 差別化、需要開拓、輸出拡大、生産性向上 等
- 明確な開発目標
- 目標実現のために必要な技術及びその研究計画
- 開発した技術の社会実装計画 等

### 3 公募課題（案）1

※金額は3年間合計（案）

#### ①超省力安定多収直播技術の開発 【127百万円】

- 直播は**苗立ちが不安定**で**倒伏や減収が心配!**
- もっと**低コスト**で**楽に除草**ができないか?

- **苗立ちに優れ、倒れにくく多収な高度直播適性品種**に**最適な水管理**等の栽培技術を開発
- **自動飛行によるドローン播種**と**播種前除草**など**画期的な直播除草技術体系**を開発

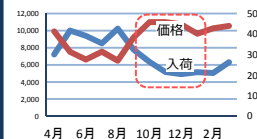
<イメージ>



【期待できる効果・ポイント】

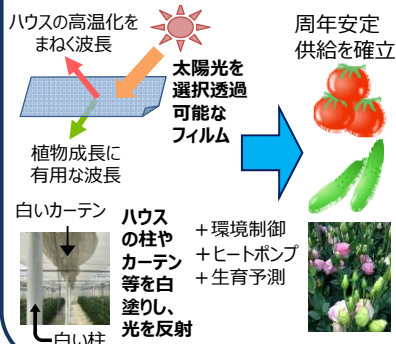
- ✓ 直播の導入による省力化・低コスト化により、経営体の**収益を10%以上向上**

#### ③新たな資材等を組み合わせた低コスト高温対策技術等による周年安定生産技術の開発 【127百万円】



施設栽培では夏場の高温対策に遅れ

新たな資材や技術の組合せにより、**トマト等の夏越し栽培体系**や**低コスト高温対策技術**を実証・確立。また生育予測による**トルコギキョウの安定生産技術**を実証



周年安定供給を確立

【期待できる効果・ポイント】

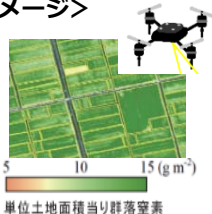
- ✓ **夏越しトマト生産**による**収益1割増**
- ✓ **トルコギキョウ計画生産**により生産者**収益2割増**
- ✓ 年間を通じた作業の**平準化**も可能に

#### ②農薬・肥料を効率的に自動散布可能なドローンシステムの開発 【76百万円】

コストの削減をするためにも**ドローン**で**効率良く追肥や農薬散布**を行いたい。

水田作・畑作における、**センシングデータ**に基づく**局所追肥**、**水稻防除**や、**充電・バッテリー交換**及び**農薬・肥料補給の自動化**など、**効率的なドローン自動散布システム**を開発

<イメージ>

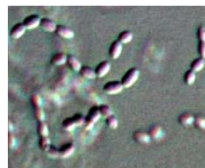


【期待できる効果・ポイント】

- ✓ **追肥や農薬散布の低コスト化**等により、経営体の**収益を10%以上向上**

#### ④国産発酵微生物を活用した日本独自のナチュラルチーズ製造技術の開発 【76百万円】

<イメージ>



発酵微生物

国産**ナチュラルチーズ**の**競争力強化**に向け、**日本独自の風味や香り等の品質**を実現する**国産発酵微生物**を探索し、**国際競争力を有する国産ナチュラルチーズ**の製造技術を開発

【期待できる効果・ポイント】

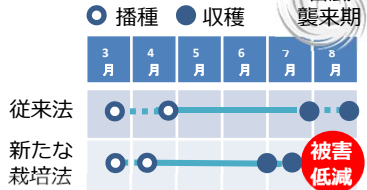
- ✓ **EU産ブランドチーズ**と遜色ない品質の**国産ナチュラルチーズ製造技術**を確立
- ✓ **チーズ生産者のチーズ販売**による**収益を10%向上**

### 3 公募課題（案）2

※金額は3年間合計（案）

#### ⑤ 気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発 【127百万円】

<イメージ>



○台風被害を回避・低減・分散するトウモロコシ等の品種利用、栽培技術等を開発

暖地・温暖地における耐暑性草種・品種等の利用等

寒地におけるこれまで利用が難しかった草種の利用等

○温暖化等に対応した新たな飼料作物の草種・品種利用、栽培技術等を開発

台風、大雨、暑熱等の気象リスクに対し、**収量・品質が大きく左右されない自給飼料生産技術**を、新たな草種・品種の利用や栽培技術等により開発

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 気象リスクに由来する**収量減、品質低下などの被害を低減**
- ✓ 従来の栽培技術と比較し、年間収量の安定化などにより**栄養収量1割増加又は収穫適期幅3割拡大**

#### ⑦ 国際競争力を強化するための構造用集成材等の国産木材製品の低コスト化 【120百万円】

<イメージ>

原木の大量安定供給技術



間柱・集成材生産の効率化



低コスト化・競争力強化

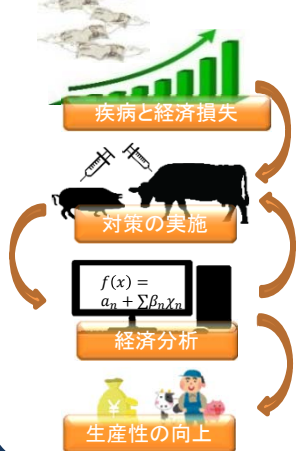
国産の構造用集成材等の木材製品の競争力を高めるため、加工施設の効率化、原木供給の低コスト化に資する技術を開発

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 素材生産から木材製品の製造まで効率化が図られ、**コストを低減**

#### ⑥ 慢性疾病対策に有効な飼養衛生管理技術の確立 【76百万円】

<イメージ>



畜産の生産性を向上させるための疾病対策を含む飼養管理について研究・分析を行い、畜種・飼養規模別にその効果を実証

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 有効な衛生管理技術を確立し、疾病発生にともなう**コストを見える化**
- ✓ 慢性疾病の衛生指導へ活用し、農場の**収益を5%向上**

#### ⑧ 加工食品の輸出促進のための賞味期限延長技術の開発 【120百万円】

<イメージ>



輸出促進を図るため、**容器包装技術**と**非加熱殺菌技術**を組み合わせ、加工食品の賞味期限の**延長(1年以上)**を可能にする技術を開発

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ **賞味期限の大幅延長** (例:6ヶ月→1年以上)
- ✓ 廃棄を減らして**輸送コストを大幅に削減**

#### ⑨国際競争力強化に向けた生鮮野菜の容器包装技術の開発 【83百万円】

<イメージ>



生鮮野菜、特に葉茎菜類の長期保存（2倍以上）を可能にし、加工・業務用野菜の安定供給、野菜の輸出促進を可能にする容器包装技術を開発



【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 生鮮野菜の鮮度保持期間の大幅延長  
（例:10日→1ヶ月以上）
- ✓ 高品質な生鮮野菜の安定供給、輸出促進
- ✓ 計画的・安定的出荷と廃棄ロスの低減

## 4 今後のスケジュール（予定）

